

令和8年度 高山市立丹生川小学校 学校経営全体構想

《高山市小中学校教育の方針と重点》

＜方針＞
未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成
＜重点＞
持続可能な社会の創り手の育成
【授業・活動のキーワード】
『主体的・対話的で深い学び』
～対話から議論！より深い学びへ～
一人ひとりに合った学びの実現

《学校課題・願い》

- * 安全な環境づくりと一人ひとりに合った安心できる居場所づくり
- * 自己決定、自己調整し、主体的に挑戦する力の育成
- * 基礎学力の確実な定着と子どもたちにとって楽しい授業づくり(教科担任制による授業)
- * 一人ひとりに寄り添う指導と多様性の尊重
- * ふるさと丹生川に愛着と誇りがもてる児童の育成

＜学校教育目標＞

『心身ともにたくましく 進んで実践する子 ～ やさしい子 かんがえる子 やりぬく子 ～』

【育てたい資質・能力】

仲間と関わり合い 試行錯誤しながら最後まであきらめずに挑戦する力

【生活づくり】

一人ひとりに合った安心できる居場所の実現

(失敗してもいい・失敗した次の行動)

- 一人ひとりとはみんな違うことを理解し、日常にお互いの違いを認め合う活動の充実
- 常に新たな一步を踏み出すための活動の充実(児童会活動・学級活動)
- 4ステージにおいて、「なりたい自分」の振り返りと、新たな目標設定の見届け
- 一人ひとりの実態に合わせた対応と、スクールワイドPBS活動の充実

【学習づくり】

一人ひとりに合った学びの実現

(分からないと言える・あきらめない)

- 「できた」「分かった」と実感するための既習内容の定着と課題設定の工夫
- 議論につながるために、明確な視点をもった教師の精選された一言づくり
- ICTの効果的な活用と一人ひとりの定着の見届け
- 学習したことや自分の考えを言葉で表現する場を多く設定

「明日も来たくなる学校」・「力をつける学校」

＜子供たちの命を守り切り、児童、教職員ともに心身が満たされた状態の学校＞

- ・いじめ・差別・暴力を絶対に許さない体制と、即日に、丁寧で誠実な対応
- ・特別支援教育の充実と、全教職員による支援体制の確立(言語力アップ)
- ・規範意識を高く持ち、子どもたちや保護者、地域の方々と一緒に考える教職員集団
- ・「子どもたちのために」と「自分の生活やキャリアアップ」を両立した温かい職場環境

★郷土愛を育み、ふるさと丹生川への愛着と誇りをもち、地域に貢献しようとする力を培う
→系統性を踏まえた「総合的な学習の時間」「生活科」の充実

★地域とともにある学校＝家庭・PTA・地域との連携指導

「学校運営協議会」「すくなくっ子教育連携会議」「まち協」「支所会議」「保小中連携」

◎小中連携:願いや課題、具体的指導の共有(管理職会・担当者会・合同全校研等の開催)